

都市再生整備計画 事後評価シート

新発田市中心市街地地区

平成29年12月

新潟県新発田市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	新発田市	地区名	中心市街地地区	面積	250ha
交付期間	平成23年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	5,742百万円	国費率	0.5
事業名							
当初計画に位置づけ、実施した事業		削除/追加の理由					
当初計画から削除した事業 新たに追加した事業	基幹事業 提案事業 なし	基幹事業から関連事業へ変更、他の基幹事業へ変更 影響なし					
1)事業の実施状況							
交付期間の変更	当初 変更 平成25年度～29年度 平成 年度～年度	交付期間の変更による事業 指標、数値目標への影響 指標 基準年度 目標値 モニタリング 評価値 目標年度 モニタリング 評価値 目標 達成度 1年以内の 達成見込み 効果発現要因 (総合所見)					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1 少率 単位 中心市街地の居住者の減 % ▲ 3.8 H24 0 H29 ▲ 1.1 X あり なし ● は難しかった。 指標2 中心市街地の通行量 人/日 4,623 H24 7,306 H29 4,486 X あり なし ● 効果が一時的かつ部分的であった。 指標3 観光入込客数 人/年 77,400 H24 94,000 H29 77,721 X あり なし ● 二ノ丸公園の効果で新発田城の入込が増え えた。他の入込が伸び悩んだ。 指標4 空き店舗率 % 28 H24 22 H29 28 X あり なし ● 整備した拠点周辺では効果があつたが、他 の落ち着込みが見られた。 指標5	平成30年4月 平成29年11月 平成30年11月 平成30年4月 平成30年4月					
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1 図書館入館者数 人/年 186,682 H24 455,873 基準年度 目標年度 モニタリング 評価値 目標 達成度 1年以内の 達成見込み 効果発現要因 (総合所見) アクセスの良い駅前に多目的な複合施設 を整備し、入館者数が増えた。 その他の数値指標2 新発田城の観光入込客数 人/年 45,403 H24 54,447 基準年度 目標年度 モニタリング 評価値 目標 達成度 1年以内の 達成見込み 効果発現要因 (総合所見) 二ノ丸公園等を整備したことと、新発田城 の観光入込客数が増えた。 その他の数値指標3 駅前複合施設付近の通行量 人/日 1,281 H24 1,322 基準年度 目標年度 モニタリング 評価値 目標 達成度 1年以内の 達成見込み 効果発現要因 (総合所見) 駅前複合施設の効果で様々な目的的利用 者が集うことになり通行量が増えた。 新発田駅前複合施設の設立によって計13回、サボーターカラブを設立したことで、市民と行政の対話の機会が増え、サボーターカラブを設立したが、行政・民間・大学が一体となって進められたことで、对话の機会が増え、学生が勉強できるようになつた。	平成30年4月 平成30年4月 平成30年4月 平成29年11月 今後の対応方針等					
4)定性的な効果 実現状況	・新発田駅前複合施設では、図書館を中心とした行政棟と商業棟とを合わせて計7回開催し、市民と行政の対話の機会が増え、サボーターカラブを設立したが、行政・民間・大学が一体となって進められたことで、对话の機会が増え、学生が勉強できるようになつた。 ・新発田駅前複合施設では、毎週末行われているイベントにより交流人口が増え、市民が自由にくつろぐ姿、学生が勉強できるようになつた。	実施内容					
5)実施過程の評価	モニタリング 住民参加 プロセス 持続的なまちづくり 体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施して いた 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかつた ● 駅前複合施設の運営については、市民の積極的な参画による運営に努 めるにとした。 都市再生整備計画に記載したが、実施した 都市再生整備計画に記載はなかつたが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかつた ● 都市再生整備計画に記載はなかつたが、実施した ● 支付終了後も、この取り組みを継続する。 ● 支付終了後も、この取り組みを継続する。					